

コンテナ育苗における薬剤防除暦

月	旬	生育 ステージ	重点作業	病 害 虫 防 除		備 考
				対象病害虫	散布薬剤と濃度	
1	上		原苗堀り上げ・選苗 (～1月下旬)			原苗の寒(雪)害を回避する
	中 下		1年生コンテナ苗播種 (1月下旬～4月上旬) (直接播種、移植)			培地の凍結に注意する
2	上 中 下	1年生苗 (発芽開始)				
3	上		1年生コンテナ苗移植 (3月上旬～4月上旬)	スギ立枯病 (3～5月)	タチガレン (液) 500～1000倍液 使用回数 1回のみ	・移植後、速やかに散布する ・場合によっては移植前(仮植)時にも散布する ・培地に混ぜる ・ヒノキのみの適用となっているので注意 ・稚苗の食害を回避する
	中		2年生コンテナ苗移植 (3月上旬～4月上旬)	ネキリムシ類 (3～5月)	トクチオン細粒剤F (粒) 9～12kg/10a 使用回数 3回まで	
	下			ケムシ・アブラムシ類 (3～8月)	スミチオン (乳) 1000倍液 使用回数 6回まで アディオ (乳) 1000倍液 使用回数 6回まで	
4	上	生育期	散水管理	スギ苗赤枯病 (4～5月)	ジマンダイセン水和剤 400～600倍液 使用回数 2回まで	・2～3週間に一回、散布する ・スギのみの適用となっているので注意
	中 下				エムダイファー (水) 400～600倍液 使用回数 8回まで ステンレス (液) 1000～1500倍液 使用回数 2回まで	
5	上 中 下	生育期	散水管理	斑点病・輪紋羽枯病	Zボルドー (水) 500～800倍液 使用回数 制限なし	・併用可能な薬剤が限定されるため、要注意 ・5～11月まで散布
6	上	生育期	散水管理	斑点病・輪紋羽枯病	Zボルドー (水) 500～800倍液	・6～8月散布 ・6～8月散布 ・スミチオン乳剤はヒノキの場合、葉害が出やすいので注意する ・稚苗の葉害被害に注意する
	中 下			炭疽病・輪紋羽枯病 ケムシ・アブラムシ類 蘚 苔 類	ベンレート (水) 2000倍液 使用回数 制限なし スミチオン (乳) 500～1000倍液 アディオ (乳) 4000～8000倍液 キレダー (水) 500倍液 使用回数 3回まで	
7	上	生育期	散水管理	斑点病・輪紋羽枯病	Zボルドー (水) 500～800倍液	
	中 下			炭疽病・輪紋羽枯病 ケムシ・アブラムシ類	ベンレート (水) 2000倍液 スミチオン (乳) 1000倍液 アディオ (乳) 1000倍液	
8	上	生育期	散水管理	斑点病・輪紋羽枯病	Zボルドー (水) 500～800倍液	
	中 下			炭疽病・輪紋羽枯病 ケムシ・アブラムシ類	ベンレート (水) 2000倍液 スミチオン (乳) 1000倍液 アディオ (乳) 1000倍液	
9	上	生育期	散水管理	斑点病・輪紋羽枯病	Zボルドー (水) 500～800倍液	
	中 下			炭疽病・輪紋羽枯病	ベンレート (水) 2000倍液	
10	上 中 下	生育期	散水管理	斑点病・輪紋羽枯病	Zボルドー (水) 500～800倍液	
11	上 中 下	成長休止	コンテナ苗出荷 (11月下旬～翌年3月下旬)	斑点病・輪紋羽枯病	Zボルドー (水) 500～800倍液	
12	上 中 下		原苗堀り上げ・選苗 (12月下旬～翌年1月下旬)			

農薬名の略号

(水) : 水和剤 (乳) : 乳剤 (液) : 液剤 (粒) : 粒剤